

科目名称	データベース開発				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Database Development				グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	()	
科目コード	590150	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	山本 浩貴		年次担当	2年次	後期	ホテル・観光	()	大学編入	()
実務経験教員担当	有・無		アクティブラーニング		有・無				
授業概要及び授業方法	<p>データベース演習を引き継いで、更にステップアップして、企業の実務現場で活用できる、実践的なデータベース活用技術と業務システム開発手法を学習する。</p> <p>本教科では単なる操作だけではなく、企業の業務をどのようにデータベース化して、業務処理システムを構築できるかをテーマにする。</p> <p>具体的には顧客管理システム、売上管理システムなどの企業の業務システムを実例として、データベースを使ってシステム開発を学び、実社会の業務システムの仕組みや、システム開発の手法も学ぶ。</p> <p>*データベース演習を履修した学生のみを対象とする。</p>								
関連する科目	データベース演習				卒業認定(学習成果)との関連	①③⑥			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 復習と住所管理システムを開発 2. メディア管理システム構築1。メディア管理システムとは。テーブル、フォームの作成 3. メディア管理システム構築2。クエリ、フォーム、レポートを作成。メインメニューによる自動化 4. 売上管理システム構築1。売上管理システムの構成。マクロとは 5. 売上管理システム構築2。各種テーブル、フォームの作成 6. 売上管理システム構築3。各種クエリの作成 7. 売上管理システム構築4。各種レポートの作成。メインメニュー作成とマクロの活用 8. 顧客管理システム構築1。レンタルビデオ店における顧客管理システムの構成 9. 顧客管理システム構築2。各種テーブル、フォームの作成 10. 顧客管理システム構築3。各種クエリの作成 11. 顧客管理システム構築4。各種レポートの作成 12. 顧客管理システム構築5。メインメニューとマクロの作成 13. 自由課題制作 14. 自由課題制作 15. 自由課題制作 								
授業時間外の学習	復習を重点的にすること。(2時間程度)								
授業の到達目標	データベースの基本的な操作を習得したうえで、業務システムを理解し、システムを設計構築して、マクロによるシステムの基本的な自動化ができるレベルを目指す。								
課題に対するフィードバック	課題に対するフィードバックは授業中に行う。				評価方法・基準	課題提出(80%) チームへの貢献度(20%)			
テキスト	ACCESSによるシステム構築問題集(ムゲンダイ出版)								
参考書	授業の進度に応じて適宜紹介。								
備考									